

60年続いた左京区岩倉自動車教習所が閉所、廃業に！



60年の歴史を誇る左京区の岩倉自動車教習所が6月末で閉所、廃業の意向を公表した。全国に先駆けてハイブリッドの教習車を導入するなど、先進的な経営で60年間運営をしてきた。現状では黒字経営ではあるものの、今後の少子化、若者の自動車離れなどを考えると、この辺が見切り時と決断したと思われる。自動車教習所に限らず、先に費用を徴収してその後役務を提供し、事業活動を行う事業者にとって、事業を終了するのは非常に高いリスクを伴う。今回の岩倉自動車教習所の場合も、6月末ですべてのカリキュラムが終了する教

習生もいれば、まだ課程が残っている教習生も多くいるはず。まして、閉所の直前に入所した教習生にしてみれば、他校に振り向けると言われても、距離の遠さや交通の便など、多くの支障が

出る。このように、継続した役務を提供する事業、例えば学習塾、スポーツクラブ、年会費制の事業などは、年度の途中で事業を停止することが非常に困難だ。残額を返金すれば済むという単純なものではない。また、相当以前から告知することも必要。その途端に事業が急激に縮小する。終了にあたって、多くの損失が発生し、それをカバーする手元流動性が確保できていないと、簡単に事業の停止、廃業ができない。今回も、岩倉自動車教習所のホームページには、在校の教習生に対し閉所に対する対応が細かく記載されている。



<解説>全国の自動車教習所の数は、ピーク時は平成3年(1991年)で教習所の数は1,550か所、卒業生は約250万人だった。それと比較すると、教習所数で15%、卒業生数で約40%の減少になっている。卒業生数の減少に比べて教習所の数が減っていないのは、平成21年の道路交通法の改正

指定自動車教習所数(所)	卒業人数(人)
平成18年 1,441	1,850,481
平成19年 1,424	1,786,867
平成20年 1,408	1,636,513
平成21年 1,392	1,579,209
平成22年 1,337	1,565,812
平成23年 1,366	1,563,722
平成24年 1,358	1,589,098
平成25年 1,351	1,611,940
平成26年 1,347	1,595,971
平成27年 1,339	1,571,071

で、75歳以上の方が免許証の更新をする際に、高齢者講習を受講することが義務化されたことによる影響が大きい。これにより安定的な収入が確保できたため、卒業生数の急減と比較して、教習所数はあまり減らなかった。しかし、高齢ドライバーの免許返納のトレンドもあり、かつ、少子化からの18歳人口の減少、都市部での車利用の減少、ビジネスシーンでの自動車の利用機会の減少などと相まって、車を使うことの機会がどんどん減っているのが主たる原因だ。また、以前は車を所有することが若者の憧れだったが、車は利用する道具となり、必要がなければ車は持たない若者が、特に都市部に多くなった。この傾向は止まることがないと判断から、今回の教習所の閉所、廃業に至ったと思われる。今後、多くの教習所がこれに追随するだろう。